



2012 年 11 月 12 日発行



保健管理センターだより

11月に入り、朝晩は、ずいぶん冷え込むようになりました。あっという間に冬がやってきます。からだは寒さに慣れていないこの時期は、風邪をひきやすい時期です。

診療所を利用する風邪の学生が増えてきました。レポート提出や卒論など、生活が不規則にやりやすい時期。しっかり手洗い・うがいをして、風邪を予防しましょう。



インフルエンザの予防接種について

インフルエンザの予防接種は任意接種（希望する人が費用を自己負担して受けるもの）ですが、感染するリスクを減らす、流行を防ぐ効果が期待できます。すでに医療機関では、インフルエンザの予防接種の予約・接種が始まっています。流行のピークを迎えると思われる時期の前、12月上旬ぐらいまでには接種を済ませることをお勧めします。

インフルエンザの予防接種は毎年同じ??

毎年流行するインフルエンザには、A型・B型の型があります。インフルエンザの予防接種ワクチンは、そのシーズンに流行する型を予想し、いくつかの型に対応できるようにシーズンごとに作られています。

今年のインフルエンザワクチンには、1本のワクチンに3種類の抗原が含まれます。

- (1) いわゆる新型インフルエンザ（現在は季節性に含まれ、新型とは呼びません）A型
- (2) 季節性A香港型
- (3) 季節性B型



予防接種をしたらインフルエンザにかからない?

答えはNOです。インフルエンザワクチンの有効率は70%ぐらいと言われています。接種するとインフルエンザにかからなくなる率のほうが高くなりますが、絶対にかからないとは言えません。また、他のワクチンと比べると予防接種をしても、かかる率は高いと言われる予防接種です。

しかし、**予防接種を受けることで、インフルエンザに感染しても肺炎や脳炎などの重い合併症になる率は下がります。**また、ワクチン株と流行株が一致するほど有効率は高くなり、最近は一貫することが多くなりました。

この他、A型のほうがB型より抗体はよくつきます。A型のほうがB型よりかかると症状が重くなることが多いことから、症状の軽減にも効果があります。



予防接種はどのくらいの期間有効?

インフルエンザのワクチンを接種した場合、抵抗力がつくまでには、個人差はありますが、接種してからその効果が現れるまでに**通常2週間程度かかり、約5ヶ月間**その効果が持続すると言われています。

2012年11月ですが、最新のインフルエンザの症状発症状況を確認してみると、一部の地域で流行が始まっています。特に**滋賀県は、すでに19件と全国3番目に多い報告数**となっています。

インフルエンザウイルスは、乾燥に強い特徴があります。これから本格的な冬の到来に伴い、2013年の春にかけてインフルエンザの猛威が予想されます。早めの接種をお勧めします。

～インフルエンザ予防接種のお知らせ～

【大宮学舎】

11月27日（火）14:30～17:00 清和館3階ホール

【深草学舎】

11月28日（水）14:00～17:00 21号館101教室

11月29日（木）14:30～17:00 21号館101教室

【瀬田学舎】

12月3日（月）14:30～17:00 6号館プレゼンテーション室

費用：3,000円

申込期間：

2012年10月29日（月）～11月22日（木）

申込先等詳細は、ポータルサイトで確認してください。